

平成 28 年度

福工大ビオトープ・自然観察会

ビオトープ研究会

(福岡工業大学社会環境学部)

平成 28 年 12 月

報告書作成者

栗原 優太	社会環境学部 (3年)	会 長
萱野 恭平	社会環境学部 (3年)	

江原 將博	社会環境学部 (4年)
菊池 佳奈	社会環境学部 (4年)
田中 倫恵	社会環境学部 (4年)
平嶋 陽真	社会環境学部 (4年)
松木 靖雄	社会環境学部 (4年)
黒木 厚佑	工学部 (4年)

石橋 隆	社会環境学部 (3年)
今泉 加那恵	社会環境学部 (3年)
江口 恵太郎	社会環境学部 (3年)
杉本 涼介	社会環境学部 (3年)
岡 山 匠	工学部 (3年)

上野 由里代	社会環境学部 (2年)
栗田 航平	社会環境学部 (2年)
千原 佳晃	社会環境学部 (2年)
樋口 拓樹	社会環境学部 (2年)
山崎 貴光	社会環境学部 (2年)

足立 拓巳	社会環境学部 (1年)
井上 景雲	社会環境学部 (1年)
大澤 佳代	社会環境学部 (1年)
木下 澄香	社会環境学部 (1年)
塚本 理晋	社会環境学部 (1年)

坂井 宏光	教授 (社会環境学部)
-------	-------------

# 目次

2016年 4月29日（金・昭和の日）	第40回自然観察会	3
2016年 7月2日（土）	第41回自然観察会	15
2016年 10月15日（土）	第42回自然観察会	26
2016年 12月3日（土）	第43回自然観察会	36

## 第 40 回 自然観察会

# 第40回福工大ピオトーフと里山 自然観察会のお知らせ

※福岡工業大学・和白東小学校区ピオトーフふれあい実施委員会活動

### 内容

福工大ピオトーフと里山の自然観察会とヨモギのお菓子作りなどを行います。  
春のピオトーフや里山の若葉などを一緒に楽しみませんか？

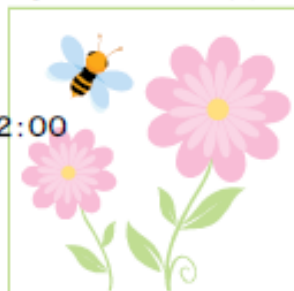
### 対象

地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)  
学生及び大学関係者の皆様

### 日程・場所

日程: 4月29日(金・昭和の日) 9:30~12:00  
※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学A棟1階A13教室  
(校門から入って一番奥の建物)



### 参加申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。  
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

### お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。  
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。  
ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

### お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部  
坂井 宏光  
Tel.: 092-606-6186  
Fax.: 092-606-6497  
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2016年4月29日に実施した春の自然観察会の事前告知。

## 第 40 回自然観察会の概要

「春に身近で食べられるこんな野草」

めあて：味覚で春を感じよう

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール  
日時 9:30~12:00  
大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生  
参加者 42名  
自然案内 田村氏 永松氏 生田氏 ((有)クラバード)

### 【活動内容】

8:30~9:30 研究室集合・観察会準備・観察会準備

9:30~9:50 開会挨拶(坂井宏光教授)

9:50~10:30 収集・観察

9:50~11:50 調理、食事、まとめ

11:50~12:00 レポート

観察終了後研究室で反省会。



## 第 40 回自然観察会の意見・感想

【学生】

A

ヨモギを実際に採集して、白玉やパンケーキにヨモギを入れて食べるというのは初めてでした。ヨモギを集める際には葉の上の方を取るという事を学びました。また、ピーピーマメの吹き方と、豆のはずし方を教わりましたがなかなか音が鳴らず、音を鳴らすのは難しいと感じました。

今日は、初めての自然観察会で地域の方ともヨモギを採集する等協力して活動が出来て良かったです。また、白玉やパンケーキを美味しく食べる事ができました。

最後の専門家のお話では、クズやハコベはお湯通しをすると食べることができ、独特の匂いのするクサギのお湯通しをすることで匂いが無くなり、食べることができるということ学びました。また、今日取ったヨモギはヨモギの煙をテントに入れると、虫よけに活用でき、タンポポは若い葉はサラダの一品にすることができ、根はごぼうと同じようにきんぴらにすることが出来るという事を学びました。

前回発見したメスの木のイヌビワは秋に熟すと美味しくなるという事を新しく学ぶことが出来ました。

B

ヨモギを食べるのはほぼ初だったけど美味しく食べることが出来た。

実際にヨモギを摘むところから調理して食べるという工程が今の私にはすごく新鮮だった。ビオトープに入るのは今回が 2 回目で 1 回目では見なかったトンボや虫を見る事が出来て楽しかった。

次回の自然観察会までに少し自分で野草の勉強をしておこうと思う。

地域の方がカラスノエンドウを使って笛を吹いているのを見て試してみたけどコツがいるのか上手く音が出せなかった。自然と触れ合う機会が全くなかった私にとっては全部が新鮮だった。

C

今日はヨモギを採るだけでなくクサイチゴの実を見つけたりカラスノエンドウのさやで草笛をしたりしました。先生方のように上手にはふけませんでしたが、作り方を教わったのでまたビオトープに行ったときにはリトライしてみようと思います。

また、前回の講義で紹介されていたホソオツネトンボのオスも見ることができ、良かったです。綺麗な青でした。今日の講義でヨモギ以外の食べられる野草を紹介していただきました。自分が、この葉っぱの形はかわいいなとか妙なおいがるなとか見つけた時には食べられるものだと思ひもしなかった植物が食べられるというのが驚きでした。全部食べてみたいです。今日は美味しく学べて幸せでした。

## D

今日はヨモギを採りました！

ヨモギを採るときは新芽の所を採れ場良いことがわかりました。

ヨモギは水の近くに生えていたり、隅の方に生えていたり様々なところに生えていました。ヨモギ以外にも食べることが出来る植物を見つける事ができました。大学に戻ってよもぎもちとヨモギのパンケーキを食べ、野草でも調理次第で美味しく食べることが出来るという事を知り、自分でサラダなどを作るのも楽しそうだと思います。

これからもっと身近な野草に興味を持って知っていきたいです。

## E

今日は前回の授業よりもビオトープを中心に観察をしました。ヨモギは結構いろんなところにたくさん生えていて、いっぱいGETできました！ヨモギは新芽の部分の採ることによって新鮮なよもぎを発見する事ができました。

ヨモギを白玉だんごやパンケーキにすることで風味を味わい春を感じる事ができました。もちもちふわふわでまた食べたいなあと思いました。ホソミオツネトンボを発見しました。名前の通り細く青いトンボを近くで見る子が出来てとても良かったです。カラスノエンドウは専門家の方がピーピーと笛を吹いているのを見て、友達と一緒に挑戦しましたが、成功することが出来ず、残念でした。

次に見かけたらまた挑戦したいです。専門家の方の話によるとたくさんの食べることが出来る野草があるため自分でも探してみようということでした。自分では名前がわからなくてもたくさんあるのだから改めて感じる事ができました。

## F

今日はヨモギとともに、アワフキムシの卵や、様々なトンボや、ノイチゴなど様々見つけました。ヨモギに似た植物も見つけたのですが、名前とかを聞いていなかったのも自分で調べようと思います。その他のもあまり詳しいことが分からないので先輩方や専門家の方々に積極的にかかわって知識を増やしていこうと思います。ヨモギもこんなにふつうに生えていて普通に取れるという事に驚きました。似た植物はあったけど裏が白いという特徴があって分かりやすかったです。

実際に食べてみると思ったより風味が感じられました。家の近くにも今日知れた植物があるか探してみようと思います。

## G

昨日一昨日と雨が続いて開かれるか心配でしたが、当日は続いた雨が嘘のようにやみ、晴れ模様となってビオトープ観察を行うことが出来た。この福岡工業大学にビオトープがあることは前から知っていたが行く機会はなかった。ゼミを通して今日観察してまずビオトープが想像していたよりも大きく生物が多く生息していることに驚いた。土は少しぬかるんでいて余り触れなかったが中には様々な生物がいるだろう。晴れが続いた時に見てみた

いと少し思った。私が今日観察して一番気になったのがヨモギの量である。  
明らかにヨモギが多いと感じた。なぜヨモギだけ多いのだろうと疑問に感じた。  
観察後に食べたよもぎ白玉は少し蓬の香りがして美味しかった。  
この機会に身近な自然を観察してみたいと思った。

## H

昨日までの大雨が嘘のような晴天の中でビオトープ観察会が行われた。今回初めてのビオトープ観察会参加であったが、まず今回で40回目を迎える歴史ある観察会であること、今回までに1300人ほどが参加しているという事を知り、また地域の方々も参加してるので地域にどのような生物、植物が生息してるかするととてもいい機会であると感じた。  
実際ビオトープは自噴が想像していたより大きく多様な生物・植物が生息していることを実査に見て触れて感じる事が出来た。私たちが普段生活してるなかなか触れることが出来ない自然に触れるとても貴重な機会であった。  
また大学に戻ってよもぎを調理してパンケーキや白玉にしてたべるという取り組みはなかなか体験できないことだったのでとても良かった。  
今回はヨモギを主に探しまわったりビオトープ周りの植物を観察しました。  
危険生物について最初説明があり、正直不安もありましたが、正直不安もありましたが、様々な生物・植物を見て知らないものも教養ゼミナールの一環として参加したが、今回はとても貴重な体験が出来良かった

## I

今回の自然観察会では久しぶりに自然と触れ合える機会楽しかった。だが個人的には、草花などの植物よりも鳥を見たい気持ちがあったので残念だった。  
ただ、植物で驚いたのは木々だけが生えていると思ったら竹が生えていたので驚いた。竹は生息地を拡大しやすいと聞いているのでこのままでは生態系が崩れたりしないのかと思った。また次もあるみたいなので次はもっと楽しめると思うのでしっかり参加したい。

## J

今日の自然観察会では、久しぶりに自然に触れることが出来たと思います。日頃、学校と家の行き来の間では自転車か電車を使っているのでなかなか自然と触れ合うことはありませんでした。今日は観察会という事もあり、とても久しぶりに草花をゆっくり見る事ができました。たんぽぽやすすきは普段見る事はあるけど普段見えていない草花を見る事が出来て良い経験になりました。もっと草花の知識があれば、また違った楽しみが出来るのかと思いました。大学の近くに竹が生えていると知りとてもびっくりしました。

## K

今日は朝からとてもいい天気絶好の観察会日和となった。  
福工大にビオトープがあるのは知っていたが行くのは初めてなので楽しみだった。



外に出るとまずヨモギの説明をされてヨモギを集めてほしいとのことだった。ヨモギを使った食べ物は昔から大好きなので頑張って集めようと思った。

ビオトープは思ったより大きく、周りには様々な植物が生えており天気も相まって気持ち良い風が吹いていた。ビオトープの水面をよく見るとアメンボやトンボがいて虫たちにとっても生息しやすい環境なのがわかった。ビオトープのまわりにはピーピー草やクマノアシアト？やタンポポなどいろいろな植物が生えていた。ピーピー草のいんげん豆のようなものは柔らかいときは食べられると聞いてびっくりした。

ヨモギを採取した後、よもぎ白玉にあんこを乗せたものを食べさせてもらった。ヨモギの香りが感じられて、とてもおいしかった。

正直、今日の観察会はあまり乗り気ではなかったがこんな貴重な体験ができて、料理もおいしかったので参加してほんとに良かったと思う。

また機会があれば参加したい。

## L

初めての自然観察会ではヨモギの収穫し、それを調理して食べた。収穫する際、多くの植物があり、どれがヨモギがよく分からなかったが葉の裏が白いというのを聞き区別できた。やはりヤゴの抜け殻やトンボも見れてトンボでも今日だけで 2,3 種類見つけることが出来た。タンポポや音の出る豆なども見れた。黄色の花もあり、綺麗だった。

ヨモギなど、食べれる草があるのは知っていたが、実際に食べたのははじめてで貴重な体験が出来た。ヨモギだけでも色んな食べ物が出来て驚いた。

白玉は、ヨモギの味そのまま美味しかった。ホットケーキはいつも食べてるのと違い、色が線でもとても新鮮だった。他にも食べれる草があるか感心もてた。

こういった活動が多くあり、色んな体験ができ多くの知識が多くの知識が得られる良い演習だと思った。自然を身近に感じる事が出来た。また、こういったイベントの活動には積極的に参加していきたい。

## M

ビオトープにはたくさんの植物と虫がいました。

夏になって虫が出てきて季節の訪れを感じました。多くの人達と観察・スケッチをしてとてもいい学習になりました。

また、次も参加してみたいと思いました。

その後、ヨモギを食べてみてとてもおいしかったです。

## N

今回の自然観察会で自分の知らなかった生物を見る事が出来て良い刺激になった。ヨモギが食用だけでなくゴーグルの曇り止めやキャンプのテントの中での虫よけとしても使えるという事は今まで知らなくて驚いた。普段あまり気にしないようなタンポポも実はネガコーヒーとして使えるという事は知らなかった。

また、最近あまり見かけることが無くなったナナホシテントウを見る事が出来た。ほかにもゾウリムシなどの普段あまり見ることが無い昆虫たちも見ることができ、ビオトープには多種多様な生態系が構築されており、自分たちでもっと保護して広げて行きたいと思った。

## O

今回はヨモギ摘みをメインで行ったが、その過程で様々な動植物を発見できた。まずメインのヨモギが、まばらに生えているようで、1カ所に複数で固まって生えているものを多く確認した。このヨモギだが、専門家によると、食べられるだけでなく、水中眼鏡の曇り止めや虫よけにも使えるらしい。色々ご説明頂いたことでヨモギだけでなく、自分のまだ知らない植物の新たな活用法についても新たに知りたくなった。

昆虫も数多く確認した。このビオトープでは初めて見るコメツキムシやワカバグモ、ハエトリグモ、ヨコバイなどの小型の昆虫の姿もかわいらしく、改めて福工大ビオトープの自然環境に触れられたと思う。

今回は第一回の自然観察会ということでこれからの活動にも胸が躍る一日となった。

## P

今回初めて活動に参加させてもらって、ビオトープに始めて入りました。福工大にはビオトープがあるのを知っていましたが、実際入ってみるとその大きさや自然の大きさにとても驚きました。

今回は「春に身近で食べられるこんな野草」がテーマということで、ビオトープにあるヨモギを収集し、食べましたがとても自然の味がしました。

自分は自然観察が少し苦手だったのですが今回の活動はとても楽しくおいしく良い活動でした。

## Q

全体的にヤブジラミが多かった印象でした。

他にもヨモギ、赤目がしわ、スイバセイタカアワダチソウが生えていました。

虫はオオズアリ、クロオオアリ、シリアゲアリ、イトウオオアリ、ヒゲコメシキ♀、常会、マツモムシ、カニグモハエトリグモ、ハエの仲間、カメムシの仲間、カメノコテントウ、ナアンホシテントウ、ワカバグモが観察できました。

ヒゲコメツキ♀は大型で、見ごたえがあり、また跳ねる力は屋あつ弱かったです。大顎でかみ疲れた方もいましたが、血は出るほど力は強くないようです。

クモの仲間やハエの仲間やハエの仲間とハチの仲間も数種類みました。

メダケの新芽も生えていて、おいしそうでした。

タケカレハも何匹か発見したので、気をつけたいと思います。

どれも大きく成長した個体でした。

シリアゲアリはカラスノエンドウに寄生したアブラムシの甘露に集まっていた。マツモムシは幼虫を多く見つけました。成虫も一匹見ました。

種類は分からなかったですがヨコバイの仲間もいました。青い斑点が独特でした。  
土は湿っていて、ぬかるんでいました。

## R

クズや草イチゴなどいろいろな植物を見ることが出来た。  
やはりホットケーキ（ノーマル）おいしかった。  
タンポポはどんどん伸びて行く!!

## S

1年ぶりで楽しかった。  
ホットケーキ・ヨモギ白玉・おいしく頂きました。

## T

ホットケーキと白玉混ぜて食べた。  
天気がとてもよく気持ちよかった。

## U

今回は、ヨモギを採って、白玉に入れたり、ホットケーキに入れたりして白玉やホットケーキにヨモギを入れただけでとてもおいしくなってヨモギはいろんな料理に入れて食べてみたいと思いました。

## V

今回は初めて自然観察会に参加して、少しでも自然に触れられて良かったと思う。ビオトープ観察をした後は自分たちでとった後には自分たちでとったヨモギを使って白玉だんごやホットケーキを作って食べた。料理はヨモギの風味でおいしく、自然の味を楽しめたので良かった。

## W

蓬など食べれる葉ばかりでなく、染物などに使われたりするものがあり、植物にも様々な使い道があるのがわかった。また人間だけではなく底に生息している動物が利用しているので人間だけではないなと思いました。

## X

今回の自然観察会において感じたことは、自然の中には食べることが出来る植物が思った以上にあるのだなということです。実際に家の近くに生えているものもあったため、草刈りをするときに一緒に刈り取ってしまうものもあると思うと、もったいないことをしてしまっているな、と思いました。

## Y

私は、ビオトープの池で、ヨモギを採りに言って、ヨモギを観察して、葉っぱの裏の白い部分で分かるので分かりやすかったです。ヨモギのだんごは、ヨモギの味が少しして、匂いも良くておいしかったです。

## Z

今回の背全観察会はビオトープ周辺の草木から蓬を見つけ採取・調理・食べるという内容でした。ヨモギは、聞いたことはあるが、見たこともどんなものかも知りませんでした。そもそもビオトープ周辺の草木にヨモギを使った料理を作れるほどのヨモギが自生しているのか、と疑問でした。結果としては、ビオトープ周辺の草木にたくさん自生しており、ヨモギ自体も葉の裏側が白いとの事なので、沢山見つけることが出来ました。ビオトープ内では前回来た時と違い、昆虫を沢山見つけることは出来ませんでした。精々がトンボとアメンボしか見つけることが出来ませんでした。しかし、トンボでは、二匹のトンボが連れ立って飛んでいるのを見つけケンカか交尾、もしくは誘惑の最中を見ることは出来ました。そのほかにトンボがビオトープにタマゴを植えていている現場（ただ休んでいただけなのかもしれない）を見ることが出来たので、前回より良い昆虫の生活の一部を見ることが出来ました。採取したヨモギはホットケーキと、ヨモギだんごにして、食べました。専門家いわくヨモギだんごは毎年、ヨモギだんご感が出ていないとの事で、それを聞いたとき苦笑してしまいました。まとめでは専門家がヨモギ以外で、ビオトープに現在自生しているものを教えてくれました。

クズ、ツワブキ、ヨモギ、タンポポ、イヌビワ、運べ、スイバ、くっさぎ、カラスノエンドウ、クサイチゴ、ヌベ、オオバコ目だけのタケノコなど、沢山紹介されたので、こんなにいっぱいビオトープ内にあることに、とても驚きました。とても良い勉強になりました。

## AA

今日のビオトープは前に来たときより大きな生物が多くいた気がしました。ヨモギはいまいち区別が付きませんが何かにおいが変わった匂いがしました。お持ちのにおいで一回だけ食べたことのある感じでした。

トンボの抜け殻のヤゴが水面にいっぱい浮かんでました。

名前の分からないトカゲが水面に顔を出し、泳いでました。

トカゲって水面を泳ぐんですね。

イトトンボは縦に伸びてる水草に対してぴったり垂直に引っ付いていました。

疲れのないのかな、筋力すごそうですね。アメンボはどうして足の先だけで水の上に浮いていられるんだろう。不思議に思っていました。皆今のこの環境に適して進化されてきたんですね。この経緯が少し知りたくなりました。

## AB

初めての自然観察会で、普段見られない植物や昆虫などを見ることが出来ました。また、前にビオトープをしたときよりも天気が良く、生き物も沢山いました。ヨモギ収集も行ってその後に、ヨモギホットケーキを初めて食べました。ちゃんとヨモギの香りも味わうことが出来、すごく良かったです。次回の自然観察では、たくさんの植物や昆虫を観察し、分からない生き物もまだ沢山いるので、見たことない生き物を観察していき、今環境が余りよくないので環境問題についてももしっかり勉強して息、もっと植物や昆虫などに興味を持って生きたいなと思いました。

## AC

今回の自然観察会はヨモギを中心に草イチゴなど昆虫はクロスジギンヤンマやホソミオツネトンボなどを観察することが出来た。生徒として授業に参加すると同時に、ビオトープ研究会としての活動も少ししていたので大変だったが、とても密度の高い観察会だった。また、最後のお話では、私たちが普段何気なく踏みつけているものが食べれると知り、知識を深めることが出来た。これからの生活の中で、そういった道端の草木にも芽を向けて行けたらと思う。

## AD

今日はヨモギを收拾して食べた。  
専門家の話を聞いて身近にも食べられる野草がたくさんあることが分かった。機会があれば家の周りにも自然が沢山あるところがあるので野草をとって食べてみたいです。

## AE

今日は春の植物を作って料理をしました。  
植物はヨモギを使いました。料理はヨモギの白玉とヨモギのホットケーキはふんわりとしていてとても美味でした。  
私はヨモギを使った料理は他にも出来そうだと思います。

## AF

今日は観察会で蓬の白玉とホットケーキを食べました。  
まず、ビオトープにヨモギがあることを初めて知りました。  
実際に採ってみてヨモギ自体がとても香りが良くてそれだけで自然を感じさせてくれました。いつもスーパーやコンビニなどで買って食べるヨモギ饅頭などは甘味料や化学物質が大量に含まれていて、蓬本来の味を楽しめたのはすごくありがたいことでした。

AG

今回はおいしく食べました！  
濃すぎず良かったです！  
ヨモギ初心者にも優しかったです！  
次はヨモギ以外も食べてみたいです！

【一般】

AH

春の観察会は初めてですが、ヨモギ料理が意外とおいしくて驚きました。子供もとても喜んで食べていて良かったです。  
皆さんとても親切でホットケーキも焼かせてもらい上機嫌でした。  
ビオトープでのヨモギ採りもいろいろなムシや花が観察できてよかったです。子供は野いちごをとるのに夢中でしたが、テントウムシを見つけて虫にも触れることが出来、良い体験が出来ました。  
カラスノエンドウの草笛を鳴らすことが出来なかったのが残念でした。  
公園で見つけたらリベンジしたいと思います。  
貴重な体験が出来てよかったです。どうもありがとうございました。

AI

クロスジギンヤンマが2～4ひきいたけど1ぴきしかとれなくてちょっとざんねんだったけど1ぴきでもとれたからうれしかった。  
きのうまでずっと雨だったけど今日は晴れてよかった。  
ピーピーマメがいっぱいとれてうれしかったけどふけなかったからちょっとざんねん。  
ホットケーキがおいしかった。ビオトープでヤゴぬけがらをみつけたからうれしかった。  
今日午前中とても楽しかった。

AJ

天気に恵まれて、気持ち良かったです。  
ヨモギのだんごにホットケーキ、おいしかった。  
準備、運営などおつかれさまです。  
息子も楽しんでいました。

AK

最高に楽しかったです。  
ヨモギもおいしかった！！  
先生方のお話も面白く普段の植物を見る目が変わった。

AL

普段見ることのない生物とかいちご食べたりとかものすごく楽しい経験になりました。楽しかった！！

よもぎおいしかったです！

ありがとうございました！

めっちゃフレンドリーで初対面なのに優しくしてもらってうれしかったです。夏の虫はやめとくけどまた春にこれたら来たいなって思いました。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。

## 第 41 回自然観察会

# 第41回福工大ビオトープと里山 自然観察会のお知らせ

※福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

### 内容

福工大のビオトープと里山で自然観察や虫取り大会を行います。  
ぜひ夏の虫たちと触れ合ってみましょう！

### 対象

地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます。)  
学生及び大学関係者の皆様

### 日程・場所

日程:7月2日(土)9:30~12:00  
※雨天の場合も行います。

場所:福岡工業大学A棟1階A13教室  
(校門から入って一番奥の建物)

### 参加申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。  
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

### お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。  
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。  
また、ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。  
当日は気温が高くなることが予想されます。水筒を持参して、こまめに水分を摂取してください。

### お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部  
坂井 宏光  
Tel.:092-606-6186  
Fax.:092-606-6497  
E-mail.:sakai@fit.ac.jp



2016年7月2日に実施した夏の自然観察会の事前告知。



## 第 41 回自然観察会の概要

「生き物をみつけよう」

めあて：ビオトープの生き物と触れ合う

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール  
日時 9:30～12:00  
大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生  
参加者 49名  
自然案内 田村氏 永松氏 小野氏 ((有)クラバード)

### 【活動内容】

9:30～9:45

9:45～9:50

9:50～11:10 A&Bに分かれて観察・昆虫採取

A 9:50～10:25 里山 A 10:25～11:00 ビオトープ

B 9:50～10:25 ビオトープ B 10:25～11:00 ビオトープ

11:10～11:30 まとめ

11:30～12:00 アンケート記入、解散



## 第 41 回自然観察会の意見・感想

### 【学生】

#### A

今日は、里山とビオトープにいる生き物と触れ合った。里山の温度は、直射日光に比べて 4～5 度ほど低く、3 種類の鳥の声がひびいていた。(メジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス) また、エサキモンキツという背中がハート型の珍しいカメムシや、茶色くて丸いカマキリの卵などを「見つけることができた。

さらに、ビオトープでは里山以上に虫を見ることが出来た。赤色のショウジョウトンボや黄色の羽に黒色の斑点のツマグロヒョウモ (オス)、ウメラナミジャノメ、アカメガシオ、ナナフシ (メス)、アシナガバチ、モンシロチョウ、モンキアゲハ、カマキリなど、里山では見つけられなかった生き物がいたりして、環境の違いでその場所に住む生き物が違うのだと改めて感じた。

無視は苦手だったけど、自然観察会で生き物と触れ合う機会が増えて、今はゴキブリを見ても平気です。

#### B

里山はビオトープと比べて 4, 5 度低く夏の時期でも観察しやすい気温でした。

見たことのない生き物が沢山いました。はーとの模様をしたカメムシや豹柄のチョウ、真っ赤なトンボなど、普段見かけないような虫たちを観察することが出来ました。

自宅の近くに林や森はありませんが、何かの機会で行くことがあればぜひ違うところも観察してみたいです。

#### C

私は今回 2 回目の参加であったが、前回と比べて草の丈がかなり伸び、虫が活発に活動しているのを身近に感じる事が出来た。また今回は里山にも入ったが体感温度が 4, 5 度周りより低いということを実際に感じた。そして目をつぶって耳を澄ましてみると様々な鳥の鳴き声が聞こえ、鳥によって鳴き声が違う鳥によって鳴き声が違うのを感じられた。今回の観察会ではトンボだけでも 5 種類観察することが出来た。この里山ビオトープで生態系が形成され多くの生物多くの生物・植物が生息していることを学んだ。普段私はあまり自然に触れる機会がなく、虫もあまり好きではないが、今回の観察会で自然に触れる貴重な経験をする事が出来ました。今年は秋と冬の二回まだあるので、秋や冬にしか見ることの出来ない自然も見て生きたいです。

#### D

今回の自然観察会で様々植昆虫を見ることが出来た。以前の自然観察会では見ることが出来なかった昆虫も今回観察することができ良い体験になった。

鳥の声なども意識して聞くことで違いがはっきりと分かるようになった。

## E

2回目の自然観察会を行って、夏でしか見られない生き物も実際に見られたし、大きいチョウやトンボなど編みで捕まえて、虫かごの中で、観察できたのでよかったです。また、葉っぱもいっぱい越えていた里山ではメジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス3種類の声も聞いたので秋で見られる生き物を探して行けるように観察して行きたいなと思いました。

## F

ビオトープでは、虫たちが活発に活動していて、とても驚きました。私自身8月くらいにならなかつたら、そうしないんじゃないかなと考えていたので、今日ビオトープで観察してみて、マダラチョウやチョウトンボ、アカトンボ、ベニイトトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、マツモムシやそのほかの虫が沢山いて、多いなと驚きました。里山では逆に虫たちが上手く隠されていたのか沢山は見つけられなかったが、草木が生い茂っていたので、夏が着たんだなと実感させられました。

## G

雨上がりで生き物出てるか心配してたが前回よりも種類が増えている状態でたくさんいたことに驚いた。特にチョウトンボの数が著しく増えており、空を舞う姿は実に美しいものでした。来年もこのような光景を見ることができたらいいなと思いました。

## H

今年も私はビオトープで水生生物と触れ合った。確認できた水生生物はヤゴ類、マツモムシ、ヒメマルミズムシ、ケシカタビロアメンボ、ヒメアメンボなど。参加者の方にも水生昆虫と触れ合ってほしかったので、「マツモムシにさされてみよう！」を実施しました……が、ほとんどの方が網を古いトンボをとることに夢中で、誰も触れ合ってくれなかった……。話を聞いてくれた方は何名かいて、水生昆虫の小ささに驚いてくれていた。最近、私も陸生昆虫に興味が出てきたので陸生昆虫も観察した。

## I

里山は4～5℃気温が低いということで涼しかった。公園の近くでハート型の模様が珍しいカメムシ、エサキモンキツやハラビロカマキリの卵などを観察できた。ビオトープでは里山と比べ多くの虫が観察できた。枝のような姿をしたナナフシや黒い体に白の反転が特徴のモンキアゲハなどを観察できた。泥だらけになったけど人生初の虫とりは楽しかった。

## J

里山・ビオトープを観察していろいろな生き物がいろいろな形で生息していることが分かった。里山に良くのは2回目だったが

1回目に確認できていなかったもの、例えばとりや植物を確認できた。点々と生えているきのこが沢山あった。名前までは調べることが出来なかったが調べようという意欲がわいてきた。ビオトープは3回目だったが前きたときよりもトンボの種類やチョウの種類が増えていた気がした。中でも今日観察できたショウリョウトンボは色が綺麗だった。非常に暑かった。

## K

今回は、ビオトープの生き物と触れ合おうで、ビオトープと里山に言って生き物を観察しました。ビオトープでは、トンボやハチなど様々な生き物がいて、とても観察しがいがありました。里山では、ビオトープよりもトンボなどは、少なかったけど、さまざまな生き物がいました。ビオトープと里山は虫の種類がぜんぜんち違うことがわかりました。とくにビオトープの池のまわりにはトンボがたくさんいて里山には、トンボがあまりいなかったことです。

## L

今回の観察会ではビオトープと里山に行き、様々な生き物を観察した。ビオトープとは特にとんぼが多く観られ色々な種類を確認することができ、他にもカマキリやアシナガバチアブなどでも観ることができた。

里山では、今年初のゼミを観ることができた。ビオトープと違いとんぼが少なくチョウはクモなどが多く観られた。今回の観察会を通して自分の学校の近くにどんな生き物がいるか知れたし、触れ合うこともできたので良い観察会になった。

## M

里山とビオトープでは、気温の差が4～5℃もあることに気づきました。里山の気温が低いのは、大きな木々が左右から生えて日光を射断していることからだということが理解できました。

里山を過ぎた公園では、珍しい背中模様がハート型のエサキモンギシとハラケムシを見ることができて良かったです。

ビオトープにいたナナフシはオスの発見が非常に難しくほとんどメスしかいないということを知ることが出来ました。メスが自分で卵を産むということで繁殖をしていっていることに驚きました。

夏になって観察できる生き物が増えてきたと感じました。

これまでの観察で見たことのない昆虫を沢山観察できて良かったです。虫とりの体験もできて楽しく観察をすることができました。

## N

親子で参加してくださる方がふえてきて今まで以上に注意をしないといけなくなったなあ。普段はそれぞれに任せてる面が多いので改良点。1年に一回の虫とりでいつも以上に興味を持って接してくれてたかと思います。勉強会でも興味を持ってもらえる内容が作られたらいいなあ。以上

## O

友人のくもを嫌がる姿を見れて良かった。あらたな弱点が見つかった。竹やりで鳥とかヒヨドリとか狩れるらしいので今後狩ってみようと思う。

## P

里山に生息している鳥や捕ることができた虫の生態についてだけでなく木々の間で起きている生存競争など、非常に多くの興味深い話をしていただき楽しかったです。また、虫捕りということを通じてかかわりのなかった方々と会話ができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

## Q

蚊にかまれて散々だった（12箇所）

かゆい！

## R

多くのトンボやチョウが飛んでいました。

10年間積み重ねた環境の賜物だと思いました。子供から大人まで様々な方々が参加されてお話しも出来てうれしかったです！

これからも季節の移り変わりや生き物の変化を楽しむ空間として残せていたらなと思いました。

## S

ハシブトガラス

メジロ

ヨコバエ

ヒメウラナミジカモメ

色々な虫や植物を見つけることが出来て楽しかった

虫のほかにもキノコなども見つけられた。

最初は暑くてやる気が出なかったが、いざやりはじめてみると夢中になって楽しめたのでよかった。次も参加したい。

## T

一回目のときより蒸し暑くジャングルのような感じでした。まず最初は宝山の入り口で年を使って鳥の鳴き声を聞きました。3種類の鳥の鳴き声が聞こえました

暑くなると動物も植物もいろいろな種類が見れました。なぜ暑ければ暑く蒸してくる程動物も植物もいろいろな種類が見れました。なぜ暑ければ暑く蒸してる程動物も植物も種類が見れました。なぜ暑ければ暑く蒸してくる程動物も植物も種類が増えるのかとても疑問に思いました。

## U

今回の自然観察会では、生き物は、ハシブトガラス、シオカラトンボ、クロスジギンヤンマ、ウスバキトンボ、ハゼ、ヌルデ、カラスノエンドウ、シダ、セイタカワダチソウを見つけました。夏の自然ではさまざまな生き物が活動していて、特にトンボが卵を水面につけている姿を見れたのがよかった。

## V

福工大ビオトープでは多くの生き物が生息していて生き物の保護として機能をはたしていました。

## W

連日、雨が続けていたので今日の天気が心配でしたが、おどろくほどに暑くとても晴れていたのがびっくりしました。ムツもビオトープ黒山のどちらともいつも以上に観察する事ができてとても満足です。あとムツトリアミを久しぶりに使ってとても楽しかったです。

## X

今日はウシカメムシという虫がいて初めて見た虫なのですが、つのが見たままの牛で面白いなと思いました。蝶トンボも多く見受けられ、今年は早くてすこしうれしかったです。生態系ピラミッドは、分解者というカテゴリが面白くてもっといろいろ見て考えてみたいです。

## Y

今回は高温多湿で歩くだけで少し汗が出た。しかし森の中に入るととても涼しく感じた。公園では夏を代表するような大きなチョウが多く見られた。ナガサキアゲハやアオスジアゲハが多く飛び回っていた。日陰の草むらではエサキモンキツカメムシがいた。黄色のハートマークが特徴的だった。ビオトープでは、ショウジョウトンボやクロスジギンヤンマ、チョウトンボなど多くの種が見られた。これらはゼミなどが多く見られるようになると思うので音に注目して行きたい。

## Z

シオカラトンボは尾が白青黒オオシオカラは青黒。今日はとてもむし暑く、汗をたくさんかいた虫たちが交尾をしているところが多々見られ活発な時期なんだと感じた。トンボがたくさんとんでいた。

## AA

土でまたが汚れたがとても自然を感じることができて面白かった。またトンボも春と比べて種類が増えとても季節を感じることが出来ました。また森と公園では生き物も違いとてもおもしろかった。

## AB

今日は、夏の観察会ということで里山とビオトープの虫捕りを行いました。里山では、多くの植物、チョウなどを見つけることができました。またビオトープでは、昨年と同じように数多くのトンボたちを観察することができました。

## AC

今日は、久しぶりの観察会で「虫捕り」を楽しく行うことが出来ました。先日から雨が続き蒸し暑い気候の中での観察会だったのですが、これまでの授業等で見れなかった生物、これまでも見たことがある生物と確認再確認することができました。まとめでは、専門家の田村さんがピラミッドを使い様々なことを詳しく説明して下さり勉強になりました。今日は、良い観察会となりました。

## AD

今日の自然観察会では里山とビオトープにいる昆虫についてつかまえたり、観察したりしました。今日は、見る事ができた昆虫はチョウトンボ、チャボヒゲナガカミキリ、ショウジョウトンボシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、クロスジギンヤンマ、赤とんぼ、ウスバキトンボ、クロアゲハ、ベニシジミ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモン、アオスジアゲハ、ナナフシジャンメです。これらの生き物はそれぞれがお互いに関係を持っているということを学ぶ事が出来ました。

## AE

今回は植物や虫を見ることができ、自分は編みでオオシオカラトンボとアカトンボを捕まえることができた。虫を思い出すことができて楽しかったです。

## AF

初夏ということで、春に見てきた昆虫とはまた違うものが見れて良かった。

今回、多く観察できたのはトンボだが、春に見られたホソミオツネトンボなどは見られず、チョウトンボ以外も、カマキリの子供や、蝶、バッタ、声だけだがニイニイゼミも確認することができ、良い観察会にできたと思う。

里山が見れなかったのがざんねんだが、ぜひ、秋にしっかり見たいと思った。

## AG

本日の自然観察会で感じたことは、前回よりもトンボの種類が増えているな、ということでした。

私は、前回もこの自然観察会に参加したのですが、その時は、ビオトープを見渡してもそこまで沢山の種類のトンボがいるわけではありませんでした。しかし、本日の自然観察会でビオトープを訪れたときには、前回とは比べ物にならないほどの種類のトンボがいて、とても驚きました。また、自ら虫編みを使ってトンボを捕まえようとしたところトンボを捕まえることは出来たのですが、気絶してしまっており、もしかしたら殺してしまったかもしれないと思い、血の気が引いてしまいました。結果的にトンボは無事でしたが、生き物の命の尊さを改めて実感させられました。次に自然観察会に来るときは、こういったことにも注意して観察会にのぞみたいです。

## AH

遅れて参加しましたが、とても貴重な体験が出来ました。小学生以来の森林探索で、懐かしく感じる部分もありました。

どこに何があるかなど分かりやすい説明で子供たちも楽しんでいる印象がもてました。

## AI

今回は前年と同じ陽にビオトープや里山を観察しました。

去年と同じ生き物が、観察できましたが、できませんでした。

しかし、トンボを初めとする、蝶や、蜂などを観察する事ができました。

観察をしていてひとつ思ったことは、森林が年々減ってきていると思いました。

沢山の生き物の生息するビオトープや里山をしっかり守って生きたいと思いました。

今回のテーマ「生き物を見つけよう」は達成できたと思います。

## AJ

今日は、前の自然観察会よりも生物が多くいたので、面白かったです。最初はメジロ、ハシブトガラス、ヒヨドリの鳴き声を聞きました。写真に収めたかったです。公園では、ナガサキアゲハやエサキモンキツノカメムシなど珍しい生き物がいて、写真に取れたので、良かったです。



AK

本日の自然観察会ではビオトープではシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、チョウトンボ、クロアゲハ、カマキリを見た。ビオトープには多くの種類のトンボがいたが印象に残った。里山ではナナフシモドキなど新しい生き物が見ることができるので良いと思う。ビオトープ、里山は多くの生態系で成り立っており、いろいろな種類の生き物が年毎に増えていることがわかった。

【一般】

AL

小学校低学年くらいまでは、よく学校に虫かごをもって行って、休み時間に昆虫を捕まえて遊んでいたが、学年があがるにつれて、そういう機会が減っていった。久しぶりに昆虫探しをやったが、少年の気持ちを思い出すとともに、小さい頃と違い知識がついたぶん、色んな観点から観察できたので、面白かった。

AM

日常では、触れ合うことが少ない蝶々やトンボを観察する事ができて、とても楽しかったです。

改めて忙しいことを言い訳に自然に目を向けていなかったなあと思いました。

2歳の息子連れての参加でしたが、環境教育にもってこいの会なので、これからも続けて参加したいと思います。

おんぶをしてくれたお兄さん、最後尾の私たちを見守ってくれたひぐちお兄さん、ありがとうございました！

そのほかのお世話をしてくださった皆さん、ありがとうございました。

AN

今回はありがとうございました。

勉強させてもらいました。

AO

蛇に出会うのを楽しみに参加させていただきました。

結局ヘビには出会えなかったですが、福岡県産のトカゲ類3種を確認することが出来ました。トカゲはヘビのえさとなってる場合が多いので、今後トカゲ食のシマヘビが増えることを期待してます(笑)

色々な昆虫を見られ、ビオトープの環境も整いつつあるようですね？

また都合がつかましたら参加させていただきたいと思います。

今日は学生さんを初め運営進行を行っていただいたうえに感謝です。お疲れ様でした。

#### AP

初めての参加ですが、近所に里がなく貴重な経験が出来たと思います。  
もう少しゆっくり観察できればよかった。

#### AQ

子供が昆虫が大好きなので、今回の観察会に参加させていただきました。  
普段出かける場所が決まっていたので、初めての環境で又雑木林に入っの虫探しは新鮮  
でとても楽しかったです。

#### AR (9歳)

たのしかった。おもしろかった。  
チョウトンボがいた。ウシカメムシがいた。  
ショウリョウバッタがいた。  
クロスジギンヤンマがいた。  
クロオオアリがいた。  
とってもたのしかった。↑↑

#### AS

里山が楽しかった。沢山の虫がいた。  
ビオトープのとんぼの量に驚いた。  
もっと沢山の子供が虫に触れる機会があれば良いのと思います。

#### AT

少し蒸し暑かったですが、天気ももって良かったです。  
ビオトープにもとんぼがたくさんいました。  
子供たちも虫取りが出来て楽しかったようです。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。

## 第 42 回自然観察会

# 第42回福工大ビオトープと里山



## 自然観察会のお知らせ

### 主催者

福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会

### 内容

福工大ビオトープや里山の観察を行います。  
秋の植物や紅葉など、秋色に染まったビオトープ内を一緒に  
散策したり、草木染めに挑戦してみませんか？

### 対象

- ・地域の皆様  
(子供から大人までどなたでもご参加いただけます♪)
- ・学生及び大学関係者の皆様

### 日程・場所

日程: 10月15日(土) 9:30～12:00

※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学 A棟 1階 A13教室

(A棟は校門から入って一番奥の建物です)

### 参加申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。  
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

### お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。  
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。  
また、ハチやアブなどが出る危険性がありますので黒い服は  
避けるようお願いいたします。

### お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部

坂井宏光

Tel. 092-606-6186

Fax. 092-606-6497

E-mail. sakai@fit.ac.jp



2016年10月15日に実施した秋の自然観察会の事前告知。

## 第 42 回自然観察会の概要

「Let's 草木染め」

めあて：自然の色を楽しもう

活動場所：福岡工業大学 A 棟1階 A13 教室 ビオトープ A 棟ホール

時間：9:30～12:00

大学担当者：坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者：33名

自然案内：田村氏 永松氏 ((有) クラバード)

### 【活動内容】

08:30～09:25           メンバー集合、事前準備

09:30～10:00           開会の挨拶

10:00～11:50           草木染め、観察

11:50～12:00           まとめ、解散



## 第 42 回自然観察会の意見・感想

### 【学生】

#### A

今回、草木染をして種類はセイタカアワダチソウとさくら、薄の 3 つの色がありました。その中から一番香りがするサクラの色に決めました。

染めあがったのは 3~5 分くらいで、あまり時間がかからなかったことに驚きました。出来上がった布からは桜の香りがとてもよく、色もきれいに桜色に染まり、秋を感じました。

#### B

植物そのものの色は自然由来のものであるため変な物質もなく植物の香りを楽しむことができるため、家でもやってみたいと思いました。

#### C

秋の自然観察会は 2 回目で、工程はわかっていた。ただ、色の出来や染まり具合が異なっていて面白いと思った。

しかし輪ゴムを多く使いすぎたので、布の中央に染まっていないところが出てしまった。次はシンプルなものを作りたい。

#### D

今回の観察会でも草場の量が少なく使うことができませんでした。

ススキやセイタカアワダチソウ、サクラなどは色がかなり出てきており布にも色が付きやすかったが、ピラカンサは量が少なかったためか色が薄く、豆乳に負けていたため、そのへんは来年の課題だと思いました。

#### E

まずはビオトープを観察した。ビオトープにはオオカマキリの雄と雌、土イナゴ、そして水生昆虫のコマツモムシなどを確認した；。特に観察で感動したことは、オオカマキリとハラビロカマキリの卵の大きさの違いだ。

オオカマキリは名前の通り卵がハラビロカマキリより大きかったことに感動した。

草木染では植物の淡い色を楽しんだ。

自分の帽子まで染めることになるとは思わなかったが、確かに自分の持ち物を染めてみるのも楽しいな、と思った。

#### F

サクラの木の皮で染めたものが、サクラの色のように色づくという話を聞いたことがあったのですが、葉の部分でもピンクがかかったような色に染まるのだなぁと感動しました。

においもよくて、楽しかったです。

## G

今回の自然観察会でまた夏までとはまた違ったビオトープを観察することができました。セイタカアワダチソウなどの植物やリスアカネなどといった昆虫類も観察することができました。

また、姿を見ることはできなかったがウグイスの鳴き声を聞くこともできました。草木染では、サクラ・ススキ・セイタカアワダチソウといったものを用いて行った。草木染は伝統的な技法で昔から行われていたものであって化学薬品を使用するものよりも自然本来の色が出ることが分かった。

家で普段飲むコーヒーや紅茶でもできるということなので自分も今度試してみようと思う。

## H

ルリチョウレンジやオオカマキリ、ハラビロカマキリ、リスアカネっぽい、サビキコリ、ハエトリグモ、クロヤマ、アミメ、ウシマシイオアリなどがいました。

あとオオカマキリの卵があり、秋を感じました。

田村さんが山芋の蔓にできるむかごを持ってきてくださり、ねばねばしていました。

オオスズメバチもいて、気を付けようと思いました。

草木染ではススキとセイタカアワダチソウで染めました。

ススキは赤茶色っぽく色づいた水でしたが、仕上がりは黄色っぽくなりました。

アワダチソウは黄色でした。

石と輪ゴムでしばり、模様もつけてみました。

手からアワダチソウのにおいがします。

ウグイスの地鳴き声も聞きました。

サビキコリはセイタカアワダチソウの花で花粉を食べていました。

様々な生物を見ることができ、お土産もできて友人や家族への話のネタになります、楽しかったです。

## I

むかごをたべた。山芋の味がした。

今回は草木染をした。自分はセイタカアワダチソウで染めた。

## J

今日は、ビオトープで草木染めに使うセイタカアワダチソウを観察して、色が黄色なんだなと思いました。

ススキも染めることができることにビックリしました。

あとは、クモの巣を見つけて、久しぶりに見たのですが、クモもいたので、観察しがいがあったなと思いました。

## K

草木染でのきる葉や花が何種もあることを知った。

この観察会で、自然のもので染物が楽しめた。

ビオトープ見学ではススキやクズの葉、エノコログサなどを観察することができた。

ススキは熟すと複葉であること、エノコログサはイネ科で火であぶって粒をフライパンで焼くとポップコーンのようになることを知った。

また、むかごは山芋の蔓できる芋でそのままでも、油で揚げても食べることができることに驚いた。

## L

春、夏とは違う植物や虫たちを観察することができました。

この時期にもウグイスの声を聴くことができたし、春にパンケーキとして食べた「ヨモギ」の花も見れました。

初めての草木染では、サクラとセイタカアワダチソウで布を染めました。

キレイなオレンジ、黄色に染めることができ、感動しました！模様も素敵でした。

最近では化学薬品で色を染められていることがおおいですが、草木で染めることができることを知りました。

貴重な体験をすることができたため、興味がわきました！！

## M

最後に自然観察をしたのがずいぶん前だったのでビオトープがどのようになっているのか気になっていました。実際にビオトープに入ったところ、草が思っている以上においしげっており、驚かされました。ビオトープにいる生き物も以前行った時から変化していて、やはり見られる生物の数自体は減っていましたが、ハラビロとオオカマキリという二種類のカマキリの卵等、以前は見られなかったものも見れてとても楽しかったです。

メインである草木染めでは、正直、こんな短時間で布を染めることができるのかと思っており、うまくいくのか不安でしたが、思っていたより簡単に布を染めれてとても驚きました。薬品等を使わず、草や木等でここまできれいに布を染めれることができるとは思わなかったもので、こういったこともできるのだなと思われました。特にサクラの木の落ち葉の染色はあんな色になるとは思わなかったもので、感心しました。

このような体験をすることができて本当に良かったです。

## N

桜の色がとてもきれいだった。しかし花びらみたいな鮮やかなピンクではなかったのもまた自分でするときは、鮮やかな色をだしてみたいと思った。またスズメバチなど危険な生物がとてもいたので自分がそのような生物の被害にあったときの対処法など知りたかった。次の自然観察会では、季節のうつり変わりを楽しむだけでなく、危険生物に襲われたときの対処法などを知りたい。

## O

ビオトープの観察は、夏休み前にくらべて、草がとても生えてた。

奥の日陰に入るとひんやりと涼しく、とても気持ちいい。

草木染めは日本の昔からの技術らしく、その技術が使えてよかったです。全体的に薄く、やさしい感じの色でした。

今の色は見た目や雰囲気を楽しむためだが、昔の日本の草木染めは、虫よけ対策のためにあったとは知りませんでした。

## P

今回の自然観察会では、ビオトープで咲いていた外来種セイタカアワダチソウ、サクラの枯れ葉を使用して、人生初めて草木染めを体験しました。独特できれいな色を出すことができたし、貴重な体験をできてすごくよかったです。また、夏よりも涼しくなっており、ビオトープでは数えきれないほどの植物や生き物も見ることができ、夏観察した時よりも珍しい生き物など観察できたので良かったです。やっと半年が経ちましたが、まだ、自然観察会などまだあるので、積極的に参加し、まだ見たことない植物や生き物など観察できるようにしていきたいです。

## Q

今日は、今のビオトープの観察と草木染めをしました。

ビオトープに入るのは夏以来になるので、あまりにも草が生えていたのでとても驚きました。ビオトープ研究会の人がある程度伐採してこの多さなので、自然の成長力はすごいなと実感しました。

昆虫は冬が近づいているのと、草が多く茂っていたのであまり見つけることはできず、冬眠の準備でもしているのでしょうか？

草木染めではビオトープ研究会の人が、4つの色を用意してくれ、私はすすきを選んだのですが、実際の所、色がすごく地味で色のチョイスを正直間違えましたね。

## R

今日は自然の草木を使って草木染めをしました。草木染めで使ったのはすすき、ピラカンサ、セイタカアワダチソウ、桜の葉です。

身近なもので染め物ができることを実感しました。ビオトープではヤマイモのムカゴを食べてみました。ヤマイモのように粘りけがありました。久びさにビオトープを見るとだいぶ変わっていました。

## S

初めて草木染めをしました。

ムカゴを食べた。(ヤマイモの味)

根の方を掘っていくと、ヤマイモへたどりつく。



## T

あい染めはした経験はあったけど実際に草木を使って染め物をするのは初めてでした。草木から色が出て布に染み込んで出た色は自然そのものの味わいがあった。久しぶりのビオトープは夏前のころに比べて宇佐が増えており、ススキやセイタカアワダチ草など新しく生えていた。専門家の方から植物の説明を受け、新しく知る植物の生態も知れて興味深かった。

## U

今日は初めにビオトープの観察を行った。久しぶりに行ってみると草がのび、トンボの仲間やカマキリなど、これまであまり見なかった植物や虫を見つける事ができた。草木染めでは、植物の色のみを使って自然の色を楽しむ事ができた。色は人口的なものとは違い、優しい色合いだった。今日使ったもの以外でも、日常のコーヒーや紅茶など身近なものも使えると知ったので、色々な“色”をためてみたいと思いました。

## V

ひさしぶりにビオトープへ行ったが、前には見られなかった虫がいた。カマキリやバッタ、トンボなどが見れた。カマキリの卵にも種類があった。草木染めは初めてやったが、種類によって色がきれいで楽しかった。石や輪ゴムで色のつきかたがかわってくるのでいろいろ工夫してやってみた。色を出すときに出る草木の香りも楽しめた。自然本来の色や香りを楽しめて良い経験になった。機会があれば、またやってみたいと思った。

## W

今回の自然観察会は前回の7月に比べてだいぶ涼しくなった中で行われました。今回は草木染めがメインではありましたが、まず、最初の30分間はビオトープで観察を行いました。前回に比べて、虫など活発に動く姿は見る機会は、少なくなりました。しかし、アカトンボやスズメバチ、ウグイスなど、まだ多くの生き物の観察を行いました。また、専門家のお話でウグイスの鳴き声が春と違う鳴き声で泣いているということを知りました。そして、今回の自然観察会のテーマでもある「草木染め」を行いました。私は初めて草木染めを体験しました。最初は難しいのかなというイメージはありましたが、意外と簡単に楽しく気軽にすることができました。私が草木染めしたものは正直あまり色がつきませんでした。しかし、専門家のお話で色が薄くなったものはまた染め直すとさらに言い自然の色が出てくるということなので、ぜひ家でも気軽にやってみたいと思います。今回は初めて草木染めをしましたが、なかなかこのような体験はできないので良かったです。

## X

ウグイスと言えばホーホケキョのイメージしかなかったですが、チャチャチャとこの時期は泣くのだと初めて知りました。

草木染めは、今回、初めてやったのですが思ったよりもきれいに染めることができて良かったです。

## Y

今回は3回目の自然観察会だった。まず最初にビオトープを観に言ったが前回観たのが約3か月前と言うこともあって草木などがのびていた。

変わらずたくさんの生き物が生息していた。

次に行ったビオトープなどで、採取した草や木で布を染める草木染めは、初めての経験ではあったが、スムーズに楽しくできたと思う。

想像では、きれいな一色に染まると思っていたが、実際は意外と染まりにくいものだった。

ギリギリ目を凝らすと見えるくらいの色がついたが柄までは無理があった。

普段経験できないことをできたことは、よかったと思う。

## Z

今回は、草木染めとビオトープの観察で、ビオトープでは、クモがたくさんいました。ムカゴを食べてとてもシャキシャキしました。

草木染めでは、自分は桜の葉を使って染めたんですけど、桜の葉はとても色が出てきれいに染めることができました。

他の植物でも草木染めをしてみたいと思った。

## AA

ビオトープは夏と違って植物や虫などが少なくなっていたけど、クモ、カタツムリ、ハチ、カマキリ、ムカゴなどは観察することができた。

草木染めは桜で染めて、長時間鍋に入れていたこともあり、きれいに濃く染めることができたのでよかった。

## AB

今回の秋の自然観察会では、ビオトープでの観察、その後草木染めを行いました。ビオトープでは季節は冬になりつつあるので、生き物は少なく感じました。植物はセイタカアワダチソウ、ススキなどが見られました。昆虫はカマキリ、アカトンボなどが見られました。専門家の人の話によるとウグイスは春は「ホーホケキョ」と鳴き、秋～冬は「チャッチャッ」と鳴き、季節によって鳴き声が違うことを知りました。草木染めでは桜の葉、セイタカアワダチソウで黄色で染めたので、今年は桜の葉でピンクに染めました。きれいに色が付いたので良かったです。

## 【一般】

### AC

楽しかったです！ビオトープでトンボやオオカマキリを観察することができました。普段、会社と家の往復で自然に接する機会が少ないので、この時間は貴重な時です。

草木染めも家では、しないので、こういう企画があると嬉しいです。

ビオ研の皆さんも優しい方ばかりなので、気に入っています。

次回も参加させていただきたいです！よろしくお願いします。

ありがとうございました。

### AD

気持ち良い天気の中、のんびりと参加させていただきました。

ビオトープの観察では、昆虫なども少し見ることが出来、よかったです。

草木染めは桜にしたりしてみました。結構ハッキリと模様が出ていました。

準備、運営、お疲れさまでした。

### AE

今回はまず自然観察会は自然の色を楽しむということでした。まず、ビオトープの観察、草木染めという流れで、ビオトープでは非常に興味深い話もありました。ビオトープはほとんど手を付けておらず、雨水を利用していること、元々植えられていた種も生えているということもすばらしいと感じた。生息している生物についてや植物についてですが、鳥についてはウグイスの鳴き声が春先とは変化していることを学ぶことが出来ました。そして昆虫については越冬を水中で行うもの、土の中で行うものがあることを研究科の方から説明していただきました。また、ピラカンサがビオトープ内で初めて見られたとのことでした。理由としては近くの里山で取り紙を運んできたのではないかと解説していただきました。

草木染めについては、今回ススキ、落ち葉、セイタカアワダチソウ等を利用しましたが、タマネギの皮、紅茶、コーヒーの粉等、家で使う物でもできることを学びました。また、色を付けるところについて、動物性のもの、植物性のものがあり、前者は色が定着しやすいが、後者は定着しにくいため牛乳等をしみこませる工夫を使うことがあると説明していただきました。今回は投入を使っているとのことでした。草木染めをしてどのようなものが出来上がるのかという楽しみ、ビオトープで生物を捜す楽しみがありました。そして、参加している方々と自然と関わることでの表情の変化を学ぶことが出来ました。次回も参加したいと思います。

### AF

#### ビオトープ観察

自然に雨水がたまり、池ができる。年月を経て、植物が繁る過程で昆虫、鳥が生息する。風によって飛んできた植物が根を張る次から次と自然環境が作られる素晴らしさを学びま

した。

とても、興味深い観察会、次回も参加させてください。ありがとうございます。

草木染め

私の年代だと、どの家庭でも、染色をつくって染め直しなど経験していました。親から子へと教えられていたので、なつかしく思いました。

楽しませていただきありがとうございました。

知らなかったこと等、勉強になりました。楽しく参加でき、嬉しく思います。

企画運営、お疲れさまでした。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。

## 第 43 回 自然観察会

# 第43回福工大ピオトープと里山 自然観察会のお知らせ

### 主催者

- 福岡工業大学
- 和白東小学校区ピオトープふれあい実施委員会活動

### 内容

- 福工大ピオトープや里山の自然観察をします。
- ピオトープや里山にある植物のツルを使って  
かご作りを楽しみましょう。

### 対象

- 地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)
- 学生及び大学関係者の皆様

### 日程・場所

- 日程: 12月3日(土)9:30~12:00
- ※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学A棟1階A13教室  
(校門から入って一番奥の建物)



### 参加申し込み

- 参加費無料
- 事前のお申し込みは必要ございません。
- どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

### お願い

- 当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
- 汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
- ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

### お問い合わせ

- 福岡工業大学・社会環境学部
- 坂井 宏光
- Tel.: 092-606-6186
- Fax.: 092-606-6497
- E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2016年12月3日に実施した冬の自然観察会の事前告知。

## 第 43 回自然観察会の概要

「昔ながらの文化を体験しよう」

めあて：クズでカゴを編んでみよう

活動場所 福岡工業大学 A 棟 1 階 A13 教室 ビオトープ A 棟ホール  
時間 9:30~12:00  
大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生  
参加者 38 名  
自然案内 田村氏 永松氏 生田氏 小野氏 ((有) クラバード)

### 【活動内容】

8:30 ビオ研メンバー集合  
9:30~9:45 会長挨拶、説明  
9:45~9:50 移動  
9:50~10:30 クズ採集  
10:30~11:40 クズカゴ作り  
11:40~12:00 アンケート書き、まとめ、会長挨拶  
12:00 終了



## 第 43 回自然観察会の意見・感想

【学生】

C

今日は途中からの参加となりました。最初の説明が聞けなかったので、かごの作り方が難しかったですが、みんなで楽しくワイワイとカゴを作ることができました。初めてこのようなカゴを作る機会でありましたが、昔の人々がこのようにして作っているということを実際に触れて体験できたのは貴重な経験となりました。これまで春夏秋冬と4回初めて参加し里山・ビオトープの季節の変化、染め物体験をしたり、カゴを作ったりできてとてもいい経験となりました。ありがとうございました。

D

途中から参加でビオトープには行けなかったが、カゴ作りは楽しかったです。カゴは難しく、うまく作ることはできなかったが、自然のものを使った物作りができてよかったです。

E

冬の自然観察会では昔ながらの文化を体験しようというテーマでくずのつたを使ってかごを編みました。

自分はずかごを編みました。

ほかにはリースや皿などを作っている人がいて、自分も他の作品を作りたいと思いました。

F

今日は途中参加でビオトープ観察等はできなかったけど、今日のメインであるクズカゴ作りが体験できて良かった。

クズはとても柔らかくどこで採れるのかと疑問に思った。

あまり上手くクズカゴが作れなかったけど中々体験できないことができて良かった。

G

途中からの参加だったが、思っていたよりも、しっかりしたカゴが作れたのでおもしろかった。

初めて作ったので不格好なカゴだったがツタが切れにくく、しなりがあったので作りやすかった。

H

普段はあまり自然に触れていないのでこの体験を通してきちょうな体験をすることができて思い出にのこりました。

これからも自然観察会に参加していきたいと思います。

I

楽しかったです。

来年も来れたら参加してみたいです。

自然と触れることは滅多にないので今回の経験を大事にしていきたいなと思います。

J

途中からしか参加していないが、とても有意義なものだった。また来年も四回あると思うが、参加したい。

自然の大切さ、ありがたみを実感できる講義だった。

来年も楽しみながら活動したい。

K

諸事情により途中からの参加でしたが、初めての体験ができてよかったです。

カゴを見た時は、簡単なのかなと感じましたがやってみると難しすぎて先輩方からはなべ敷になる人が続出すると聞いていたけれど、自分になべ敷にすら見えない枝と木をくっつけたものができあがりしました。

できないなりに作るということをして良かったと思います。

L

今回のビオトープはクズを取るところからカゴを作るまで力仕事で楽しかったです。

今回で最後になりますが、ありがとうございました。

M

クズを採集するときに、専門家の方に、根元がグレーっぽくて湿ってるものいいと指導していただきました。

様々な状態のクズを見て、選ぶことが面白かったです。

そしてカゴを作る時、太いツルを使って先輩と三人であんでいき、とてもゴツゴツとしたクズカゴを作ることができました。

人の頭も入るくらいで、すばらしい作品ができたと自負しています。

来年もまた挑戦したいと考えています。

他の方もすばらしい作品を作られていて、個性を感じました。

N

1年ぶりのクズかご作りでした。

去年に比べ上手いはず、カゴというにはほど遠い作品となってしまいました。

しかし今回のものも去年と違っていい味がでていたのではと思います。

1年間を通し、最後の自然観察会でしたが楽しく様々なことを学べていい体験ができました。



O

今日は、途中から自然観察会に参加して、クズカゴ作りを体験しました。初めての経験でなかなか上手に作れなかったけど昔ながらの文化を体験することができて良かったです。

P

なかなかくずを編むのが難しくなかなか上手く形にならなかったがいびつながらも形っぽいものになったときにはうれしかった。自然のものを使って作るものの方が環境にもやさしく丈夫なものであるんだなあと改めて感じた。

Q

前回、前々回の自然観察会に参加できなかったのが、今回参加できて嬉しかったです。葛は生えているのはよく見かけるけれど、実際つるを触って何かするとかしたことがなかったので、初めての経験で面白かったです。見ている感じは簡単かなと思ったけれど、作ってみると力も器用さも必要でした。でも、こうやって、自然と触れ合い、道具にも自然を取り入れていた昔のくらしがうらやましいなと思いました。

R

今日はビオトープにはえているクズを使ってクズかごづくりをしました。クズをとるときだいぶ上のほうの木まで巻きついていたのですごいなあとと思いました。クズかごづくりはきれいに作ることが難しかったです。

S

以前の冬の観察会で作ったクズカゴは、カゴ底が大きくなってバランスの調整を行うのが困難だった。今回の葉、カメラ係だったので、最後まで作りきることはできなかったが、より自分の理想の丸い形に近づいたと思う。次回委は球体にしたいと思う。

T

クズかごをつくるはとても難しかった。なぜかごになるのか不思議に思った。(私が十字型になったので)でも個性があっっておもしろかった。

U

今回のクズカゴ作りでは、数多くのカゴを作ることができていて、皆楽しそうにやれていたのが良かったです。

## V

ビオトープに咲いているクズを実際に切って使って初めてカゴ作りをしました。すごく編むのが難しく、上手くできませんでしたが、すごく楽しむことができました。自然観察会は今日で最後となりましたが、今までに体験できなかったことを体験することができたのでよかったです。

## W

一年ぶりのクズかご作りはとても楽しかった。  
昨年は作ることでできなかったカゴ「今年こそは作るぞ！」と思い挑戦したが今年も失敗してしまった。来年こそは作るぞ！！

## X

今回 2 回目のカゴ作りで、前よりか上手に作ることができたからよかった。  
実際にクズを集めるところから編むまでをすごく楽しむことができ、昔の人はこうして作っていたんだなと思いました。  
また通義も参加できたらしたいと思います。

## Y

本日は 2 度目のクズを使ったカゴ作りだった。大きくて頑丈なカゴを作ることができて楽しかった。  
本日をもって環境基礎演習がおわりました。喜びと共に哀しみを感じた。  
ビオ研のみなさま、楽しい企画をあざっした！！

## Z

クズを採集するのはとても力がある作業であることを痛感しました。  
まだ作り足りないのもっと時間とクズが欲しいと思いました。

## AA

今回の自然観察会で思ったことは、昔の人々はカゴを作ることにこんなに苦勞をしていたのだな、ということです。最初のビオトープでの観察においてクズのツタを採取する作業をしていたのですが、ツタが複雑に絡まっていて、それらをほどくことが思っていたより大変な作業で、観察をしている暇がありませんでした。  
また、その後のカゴを作る作業においても中々カゴの形ができあがらず、なんとか形にはなったものの、とても頼りなさそうな感じになってしまいました。  
昔の人々はこういった作業を淡々とこなしていたと思うと、すごいな、と思うと同時に、今を生きる私たちはとてもめぐまれているのだなとも思いました。

## AB

今回は、生物が見つかりませんでしたが、ツタがからまっていたので、ほどいていくのが大変でした。そこから、ツタを使ってクズカゴを作るのが難しかったですが、けっこう作りがいがあって、楽しかったです。

## AC

クズ取りとクズカゴ作りをしました。昨年もカゴを作ったのですが、その時は作り方、カゴの仕組みがよく分からずに終わってしまいました。でも今年は立派なナベ底を作ることができました。

昨年よりレベルアップしたので来年こそはクズカゴを作れるように頑張りたいです。

## AD

今回は、クズのツタでカゴ編みをした。去年よりもきれいに編めてよかったです。ビオトープでは、生き物が全然いなかったのも、冬になったと思いました。

## AE

今回のクズのツタでカゴを編んでみ用でしたが、はっきり言って大変でした。

採取の時点で、草が生え生い茂るときところにある木にツタが巻き付いていてそれをとる作業が面倒でしたし、かごを編むのも単純な作業のはずなのに、うまく仕上がらないという事象が発生していて、とにかく大変でした、しかし普段やれないことをやれたので大変ではありましたが、そこそこ楽しかったです。

## 【一般】

### AF

初めて参加して楽しかったです。クリスマスリースまでも作って、いいクリスマスを迎えられそうな気がしました。自然観察会に参加し、ビオトープ観察をし、自然と触れ合うこともできました。

そして、ビオトープ観察会の方々、専門家の方々と話もでき、一緒にリースカゴを作ったりして、本当に非常に楽しい「授業」でした。昔ながらの籠づくりはこういう風に作るのでしょうかとついに思い一生懸命に行き、しかもそれも研究室の先生や、後輩と一緒に作り、とってもいい経験になりました。またチャンスがあれば、参加したいと思いました。

### AG

今日は私が初めて学校の自然観察会に参加した。まず、先生の挨拶と説明があった。それから、私たちは学校の里山へ移動した。冬の季節なので昆虫はあまり多くなかった。池と周囲の環境を観察した。クズを探して、葉がいらぬ。最後にきれいなくずを集めて、みんなでクズカゴ作りをした。クズカゴの作り方がわからないので、先生は作り方を教えてくれたので、頑張って作りました。やっとクズカゴを作った。面白い。今日は楽しかった。

た。

#### AH

ツタから取り、作る経験は初めてでした。

曲げるのは難しく、力がいる作業でしたが、楽しくイメージ通りの作品となりました。

我が家の玄関の飾りを最後まで作り上げたいと思います。

いい体験となりました。ありがとうございました。

#### AI

昔ながらの体験をするというテーマで、クズという植物で、工作をするという内容でしたが、どのくらいの大きさを作るのか、工程はどうするのか想像できませんでした。

ビオトープに移動し、すぐに蔦を採取することが始まり、多くのツタをハサミで切り、葉を取り除く作業は大変でした。また、クズは生命力が強く非常に多く生えていると教えていただきました。

そして、工作が始まるときには大量のツタが集まっていたのですが、最終的には殆どなくなっており、一つ作るのに必要な量が多いことがわかりました。人それぞれに、かごやリースを作り、その形、大きさも全く違い個性が出た作品を見て非常に楽しかった。作りながら話し合うこともでき有意義な時間を過ごすこともできました。

#### AJ

本日の自然観察会には、自然の中に身を置き、自然の気温で過ごすと思議なことに体力的には疲れているはずなのに、体が軽くなったようです。

歩きながら池を見たり、林道を歩いたりして、楽しい時間を過ごすことができたことを感動いたします。

自分でクズカゴづくりは大好きです。時間がとても短く感じ、1日行事でいいと思います。

今回、このような機会を与えてくださった皆様に厚くお礼申し上げます。

#### AK

クズの籠編み、クズのツタを知ったので、来年から自分でも作って見ようと思います。楽しかったです。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。